

第 4 章

【生活基盤】

安全で快適に暮らす

～ 便利も快適もそろえる ひた ～

◇◇◇◇◇◇ 施 策 ◇◇◇◇◇◇

- (1) 道路・河川・公共交通の整備
- (2) 住環境の整備と維持管理
- (3) 公園・緑地の整備と維持管理
- (4) 地域特性を活かした空間づくり
- (5) 情報通信基盤の整備と維持管理
- (6) 減災対策と災害復旧

生活基盤

4-（1）

（1）道路・河川・公共交通の整備

- ① 地域高規格道路「中津日田道路」の整備
- ② 幹線道路網の整備
- ③ 都市計画道路の整備
- ④ 生活関連道路の整備
- ⑤ 公共交通の維持と確保
- ⑥ 安全・安心で自然環境を活かした河川整備

現状と課題

- ・*地域高規格道路「中津日田道路」は、物流等の拡大や生活、産業、観光などにも大きな期待が寄せられており早期完成が求められています。
- ・国・県道改良率は県内でも最も低い水準で、急カーブで道幅が狭い箇所など多く残されていることから道路整備が必要となっています。
- ・*都市計画道路は、交通量等の状況を考慮しながら未整備区間の整備が必要となっています。
- ・市民生活に欠かせない道路については、依然として市民からの要望も多く、未整備な箇所が残されており、離合所の設置や見通しを良くするなどの効率的な整備が必要となっています。道路の重要な施設である橋梁やトンネル等については、*経年劣化に伴う補修箇所が多く、適切な維持管理を行いながら施設の*長寿命化を進め安全な通行を確保する必要があります。
- ・移動手段の確保が困難な高齢者や観光客等の増加により、公共交通のさらなる充実が必要となってきています。また、交通事業者の運転手不足や周辺部の利用者の減少に伴い、持続可能な交通手段の維持確保が必要となっています。
- ・福岡県方面へ通勤や通学に公共交通機関を利用している人もおり、所要時間の短縮によって市内に居住しながら都市部へ通う人の増加が期待されます。
- ・近年の異常気象により、防災・*減災に配慮した河川整備が求められています。

基本方針

- ・地域高規格道路「中津日田道路」については、*期成会を中心に国、県に強く要望を行い早期完成を目指します。
- ・地域の拠点と集落を結び生活に直結する*幹線道路の整備を促進します。
- ・快適で安心な道路空間の形成を目的とした都市計画道路の整備を推進します。
- ・地域の状況に合わせた*生活道路の整備を推進します。
- ・老朽化が進んでいる橋梁やトンネルなどの道路構造物は、定期的な点検に基づき計画的な補修工事による長寿命化を推進します。また、道路については、パトロール等の実施により適切な維持管理に努めます。

- ・市民や観光客の移動特性を踏まえた効率的な公共交通網を関係機関等と横断的に連携し、構築します。
- ・都市部への通勤通学者の利便性の向上を目指します。
- ・災害から市民の生命と財産を守るため、防災・減災及び自然環境に配慮した河川整備を推進します。

主要施策と主な取組

① 地域高規格道路「中津日田道路」の整備

- ・地域高規格道路「中津日田道路」の整備促進に向けた要望活動の強化

② 幹線道路網の整備

- ・幹線道路としての国・県道の整備促進に向けた要望活動の強化
- ・災害等に対応する「国道212号」の*ダブルネットワーク化への取組

③ 都市計画道路の整備

- ・事業区間の整備促進と次期着手区間の検討

④ 生活関連道路の整備

- ・地域の状況を考慮した効率的な道路整備
- ・橋梁やトンネル等の定期的な点検に基づいた適切な維持管理

⑤ 公共交通の維持と確保

- ・地域の実情や観光ニーズに即した交通手段の確保と利用しやすい公共交通の構築
- ・交通事業者に対する市内から都市部への所要時間短縮等の働きかけ
- ・関係機関等との連携による高齢者の外出機会を創出するための効果的な移動支援サービスの構築

⑥ 安全・安心で自然環境を活かした河川整備

- ・防災・減災及び自然環境に配慮した河川整備の実施

関連する主な計画

- ・日田市都市計画マスタープラン
- ・日田市地域防災計画
- ・日田市水防計画
- ・各種施設等の長寿命化計画（橋梁・トンネル）
- ・日田市地域公共交通計画
- ・日田市定住自立圏共生ビジョン
- ・日田市過疎地域持続的発展計画

目標指標

指標名	基準値 (年度)	目標値
		令和9年度
幹線道路網の改良率	61.7% (令和3年度)	62.9%

生活基盤

4-(2)

(2) 住環境の整備と維持管理

- ① 市営住宅の整備・維持管理
- ② 民間住宅に対する支援等
- ③ 水道の整備
- ④ 下水道等の整備
- ⑤ 法令や条例に基づく規制による誘導等

現状と課題

- ・経年等により老朽化した市営住宅も多く、*バリアフリー化や多様化した住民のニーズに対応した整備が求められています。また、住戸改善、売却等を周辺環境に配慮しながら進めていく必要があります。
- ・住宅の大部分を占める木造住宅の耐震化の促進は、市民の生命と財産を守る上で重要な課題です。
- ・少子高齢化や核家族化の進行などにより、適切に管理されていない空き家が増加傾向にあることから、地域環境に悪影響のある空き家や、流通や利活用が期待できる空き家への対策が求められています。
- ・吹付アスベストによる健康被害が問題となっているため、建築物を解体する際の飛散防止等の対策が求められています。
- ・高齢者、障がい者など自ら住宅を確保することが難しい要配慮者への居住支援が求められています。
- ・人口減少により水道料金収入が低下していく中で、高度経済成長期に整備された水道施設の更新需要が増大しています。さらに、激甚化する地震等自然災害への対応を目的とした施設機能の向上、適切な維持管理体制、危機管理対応等が求められています。
- ・下水道の整備については、人口減少や地域の特性等を考慮した効率的な整備が求められているとともに、経年等による下水道施設の老朽化に伴い、維持管理費用の増加が見込まれます。また、局地的な豪雨等により、浸水被害が発生しており、被害軽減対策が求められています。
- ・無秩序な土地開発等によって周辺住民の生活環境に悪影響を及ぼすことが懸念されており、開発者に対する適正な指導等が必要です。

基本方針

- ・既存市営住宅の計画的な改修等による居住環境の整備を進めます。
- ・住宅の耐震化を促進し、空き家等に対する措置や利活用等への支援を行います。
- ・建築物に使用されている吹付アスベストによる健康被害の周知・啓発を行います。

- ・要配慮者のための居住支援として、官民が連携した居住支援ネットワーク体制を整備します。
- ・水道事業の経営状況を的確に把握し、将来需要を見据えた施設規模の適正化や統廃合を推進するとともに、広域化等を検討します。
- ・下水道施設の*ストックマネジメントにより事業の効率化を図るとともに、雨水排水施設の計画的な整備による浸水被害の軽減を図ります。
- ・良好な生活環境を形成するため、法令に基づいた規制による誘導や指導等に努めます。

主要施策と主な取組

① 市営住宅の整備・維持管理

- ・市営住宅の長期的な維持管理及び計画的な改修等による*長寿命化の推進
- ・多様化する課題に対応した住宅の提供と安定した居住環境の維持

② 民間住宅に対する支援等

- ・地震対策への支援
- ・暮らし方の変化に対応した住宅改修等への支援
- ・空き家等に対する措置や適正管理に関する助言、情報提供及び問題意識の啓発
- ・空き家等の有効な利活用等に対する支援
- ・アスベスト含有分析調査に対する支援
- ・日田市居住支援協議会の設立

③ 水道の整備

- ・的確な経営、財政状況の把握
- ・将来の需要等を見据えた施設規模の適正化及び統廃合の推進並びに広域化等の検討
- ・水道事業の効率化の推進
- ・水道施設等の耐震化及び長寿命化並びに適正な維持管理
- ・水道未普及地域における生活用水確保のための支援
- ・安全安心な水道水の確保

④ 下水道等の整備

- ・下水道施設のストックマネジメント計画に基づく適正な維持管理及び共同化等の検討
- ・浸水被害の軽減に向けた雨水排水施設の整備及び適正な維持管理
- ・下水道区域外における*合併処理浄化槽の普及

⑤ 法令や条例に基づく規制による誘導等

- ・無秩序な土地開発等に対する適正な誘導及び指導等

関連する主な計画

- ・日田市都市計画マスタープラン
- ・日田市耐震改修促進計画
- ・日田市空家等対策計画
- ・日田市水道ビジョン
- ・日田市水道事業基本計画
- ・日田市水道事業アセットマネジメント計画
- ・日田市水道事業経営戦略
- ・日田市生活排水処理基本構想
- ・日田市雨水管理総合計画
- ・下水道ストックマネジメント計画
- ・日田市下水道事業経営戦略
- ・日田市過疎地域持続的発展計画
- ・各種施設等の長寿命化計画（公営住宅等）

目標指標

指標名	基準値 (年度)	目標値
		令和 9 年度
上水道の管路の耐震化率	9.1% (令和 4 年度)	12.5%

生活基盤

4-(3)

(3) 公園・緑地の整備と維持管理

- ① 歴史・文化や自然環境を活かした公園・緑地の整備
- ② 身近な公園の整備
- ③ 安全で安心な公園・緑地づくり
- ④ 緑地の保全と緑化の推進

現状と課題

- ・日田の歴史や文化など、地域特性を活かしながら景観や自然との調和に配慮した公園づくりが求められています。
- ・公園利用者は、子どもから高齢者まで幅広い年齢層の市民や*地域コミュニティ活動等で利用しており、地域拠点となる公園づくりが求められています。
- ・多くの公園施設等が老朽化していることから施設の改修や適切な維持管理が必要です。
- ・公園は、避難場所としての機能も有していることから安全性を考慮した公園整備を進める必要があります。
- ・豊かで特色ある景観や自然との調和に配慮した緑化保全に取り組む必要があります。

基本方針

- ・日田の歴史や自然と調和し多くの人が集える公園づくりを推進します。
- ・公園は、市民の交流促進や防災面からも重要な施設であることから、多目的な活用や幅広いニーズに対応し地域バランスを考慮した公園整備を行います。
- ・公園施設の*長寿命化対策を図るとともに、適切な維持管理を行うことで、いつでも誰もが安全で安心して利用できる公園づくりに努めます。
- ・市民に潤いと安らぎを与える緑を保全し、人と自然が共生する特色ある地域づくりに努めます。

主要施策と主な取組

① 歴史・文化や自然環境を活かした公園・緑地の整備

- ・地域の特性や*文化資源を活かした公園等の整備及び保全
- ・地域材を使用した公園施設の整備

② 身近な公園の整備

- ・地域バランスに配慮した公園の整備
- ・私有地等を有効活用した*借地公園の整備

③ 安全で安心な公園・緑地づくり

- ・遊具など公園施設の長寿命化計画に基づく適切な改修と維持管理
- ・トイレなど公園施設の*バリアフリー化
- ・障がいのある子どもない子ども一緒に遊べるインクルーシブ遊具の導入
- ・安全に配慮した緑地の管理

④ 緑地の保全と緑化の推進

- ・緑地の保全や公共施設等の緑化の推進

関連する主な計画

- ・日田市都市計画マスタープラン
- ・各種施設等の長寿命化計画（公園施設）
- ・日田市過疎地域持続的発展計画

目標指標

指標名	基準値 (年度)	目標値
		令和9年度
バリアフリートイレの整備箇所数(累計)	52箇所 (令和3年度)	58箇所

生活基盤

4-(4)

(4) 地域特性を活かした空間づくり

- ① 市街地や観光拠点等の整備
- ② 景観の形成
- ③ 計画的な土地利用

現状と課題

- ・本市の中心市街地であるJR日田駅周辺は、経済状況の変化などにより交通・商業等の機能が低下していることから、市民生活の拠点として多様な機能を集積し魅力ある都市空間の形成が必要です。
- ・観光の拠点である豆田地区と隈地区については、豊富な地域資源を活用し観光客の回遊性を高める必要があります。
- ・本市には、歴史的価値の高い建造物が多く残されている地域や*文化的景観地域などがありますが、建物の老朽化や高齢者世帯の増加、後継者不足等の問題で徐々に失われつつあることから、市民との協働により歴史的町並みの景観や建造物の保存、修理等を実施し継承していく必要があります。
- ・市街地の形成を図る地域と農用地や森林緑地等の自然環境の保全により、市街化の抑制に努める地域との区分を図り、計画的な土地利用を推進していく必要があります。

基本方針

- ・市民生活の拠点である中心市街地の機能向上と、歴史的町並み等の観光資源を活かした地域空間の整備を推進します。
- ・市民との協働により歴史的町並みや文化的景観の維持と保存を行い、良好な景観形成を図ります。
- ・土地利用のバランスや周辺との関連性を考慮した適切な*用途地域を指定し、建築物等の適正な配置と誘導に努めます。

主要施策と主な取組

①市街地や観光拠点等の整備

- ・利便性の高い中心市街地の整備

② 景観の形成

- ・歴史や文化、自然環境と調和した景観の形成
- ・保全と活用が図られた賑わいのあるまちづくりの推進

③ 計画的な土地利用

- ・各種計画に則した長期的、計画的かつ総合的な土地利用の推進

関連する主な計画

- ・日田市都市計画マスタープラン
- ・日田市景観計画

目標指標

指標名	基準値 (年度)	目標値
		令和9年度
伝統的建造物修理・修景済数(累計)	53件 (令和4年度)	62件

生活基盤

4-(5)

(5) 情報通信基盤の整備と維持管理

① ブロードバンド環境の利活用

現状と課題

- ・市内の*ケーブルテレビサービスは、令和4年4月から民間事業者による提供へと一本化されていることから、行政と民間が連携した情報発信体制の構築が求められています。
- ・携帯電話やスマートフォンは、今や個々の携帯端末として日常生活のみならず、災害などの緊急時の必需品となっており、スマートフォンの普及により*Wi-Fi環境の整備が求められています。
- ・インターネット通信の利用やケーブルテレビの視聴が市民生活を送るうえで不可欠となっており、各サービスの提供を支える情報通信網を維持することの重要性が高まっています。
- ・IoTの活用やテレビ放送における双方向番組などが普及しており、時代に合ったサービスの提供を支えるために、大容量通信への対応を含めた通信基盤の適切な管理が必要となっています。

基本方針

- ・民間ケーブルテレビ事業者との連携を深め、適切な行政情報の発信や良質な放送サービスの提供に努めます。
- ・公設の光ファイバーを積極的に民間企業へ貸出し、Wi-Fi環境の整備等による*ブロードバンド環境の有効活用を図ります。
- ・ケーブルテレビ網や高速通信網を含む公設の光ケーブル網は、市民や企業にとって重要な*インフラストラクチャーとなっていることから、適切な維持と管理に努めます。
- ・時代に合ったサービスの提供が可能となるよう、計画的な機材の更新を進めるほか、産業分野への情報通信技術の活用を推進します。

主要施策と主な取組

① ブロードバンド環境の利活用

- ・民間ケーブルテレビ事業者との連携体制の構築
- ・情報通信基盤の有効活用（観光施設、*指定避難場所等へのWi-Fi環境の整備及び*テレワークへの活用）

- ・公設の光ケーブル網の適切な維持管理の実施
- ・時代に応じたサービスの提供に対応する機器更新の検討

関連する主な計画

- ・日田市情報化基本計画
- ・日田市定住自立圏共生ビジョン
- ・日田市過疎地域持続的発展計画

目標指標

指標名	基準値 (年度)	目標値
		令和 9 年度
観光施設、指定避難場所等への Wi-Fi 環境の整備箇所数(累計)	21 箇所 (令和 4 年度)	25 箇所

生活基盤

4-(6)

(6) 減災対策と災害復旧

- ① 減災対策の推進
- ② 豪雨災害等の復旧

現状と課題

- ・近年の異常気象は想定外の災害を誘発し、河川の氾濫や土砂崩壊による被害が起きています。このような状況から*地域防災計画による危険箇所の把握と災害に強い公共施設の整備が求められています。
- ・災害発生時の速やかな対応は、被害を最小化し円滑な復興に大きく寄与することから、防災体制の整備と復旧支援事業の充実が求められます。

基本方針

- ・国、県が管理している重要な道路や河川については、中・長期的な整備が実施されるよう関係機関と連携していきます。
- ・国、県への治山、治水及び*急傾斜地対策促進の要請とともに、被災した施設の復旧については、生活の基盤となる道路等の復旧を早期に図り、市民生活の安定が図られるよう整備に努めます。
- ・風水害及び地震等の災害から市民の生命と財産を守るため、地域防災計画等を基に、行政や関係機関及び地域住民との連携の強化を図り、防災体制の整備と*減災対策を推進します。
- ・市が管理する道路や河川については、危険箇所の防災対策を進めるとともに、被災箇所の早期復旧に努めます。

主要施策と主な取組

① 減災対策の推進

- ・ 災害危険箇所の解消に向けた防災、減災対策の推進
- ・ 災害に備えた公共施設等の整備及び減災対策の推進
- ・ 治山、治水対策に伴う国、県の関係団体への要請
- ・ 急傾斜地等の崩壊防止対策工事の推進

② 豪雨災害等の復旧

- ・ 国、県等の早急な復旧の促進
- ・ 被災箇所の早急な復旧
- ・ 防災体制の強化
- ・ 災害により被災した公共施設等の早急な復旧

関連する主な計画

- ・ 日田市地域防災計画
- ・ 日田市水防計画
- ・ 日田市過疎地域持続的発展計画

目標指標

指標名	基準値 (年度)	目標値
		令和 9 年度
災害防除工事の整備箇所数(年間)	6 箇所 (平成 28 年度)	5 箇所

